

大東院寺社雜事記 百五十三

内閣文庫	
番號	和 21122
冊數	167(148)
函號	古 27 514

古文書  
三〇函  
五九〇  
一四號

大東院寺社雜事記



148  
1

(11)

二二〇包

明應六年十月日

常山寺

并石字九

寺社雜事記

付院家

共一八九

148  
2

大衆院

Handwritten text in the upper left quadrant, possibly a date or reference number.

Vertical handwritten text in the middle left section.

Vertical handwritten text in the lower middle section.



明應三年十月八日

第百九  
寺社部事記

付込家

大木

148  
3

Handwritten text on the left edge, including characters like 和月 and 寺社部事記.

Handwritten text in the upper left quadrant.

148  
4  
118

一 法苑珠林行月

明應六年丁酉十月一日

朔子仁王御方有攝護其景曉 余

法儀の二口半

法儀全才二口、此等者二口より一口

御一取即、再取成言如毎句

今より御指下、御取法定得業

手見道定法定得業

御一取即、再取成言如毎句

二三孝善法寺也、今取業、御一取即、再取成言如毎句

手見道定法定得業

御一取即、再取成言如毎句

手見道定法定得業

御一取即、再取成言如毎句

手見道定法定得業

御一取即、再取成言如毎句

手見道定法定得業

御一取即、再取成言如毎句

手見道定法定得業

送... 奉... 中... 指... 亦... 乃... 年... 全... 年...

其... 始... 之... 定... 三... 乃... 乃...

十... 出... 乃... 乃... 乃... 乃...

善... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃...

乃... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃...

一 漢元帝時...

知 只 下...

今 提 守 官...

梁 少 康 教 田 是 也

一 漢元帝時...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

長 井 和

一 今曉古平行自塔 廣野尚(塔)

一 塔以不入同叫信感 廣野(回而)秀

尸古井(心)如走(心)其(心)如(心)

一 刺(心)心(心)心(心)心(心)心(心)

一 刺(心)心(心)心(心)心(心)心(心)

一 刺(心)心(心)心(心)心(心)心(心)

一 刺(心)心(心)心(心)心(心)心(心)

一 刺(心)心(心)心(心)心(心)心(心)

一 刺(心)心(心)心(心)心(心)心(心)

古(心)心(心)

一 油(心)心(心)心(心)心(心)心(心)

一 刺(心)心(心)心(心)心(心)心(心)

一 我亦不食... 汝亦不食... 汝亦不食... 汝亦不食...

一 汝亦不食... 汝亦不食... 汝亦不食... 汝亦不食...

一 藤原 下子 下 藤原 下子

一 藤原 下子 藤原 下子 藤原 下子

一 藤原 下子 藤原 下子 藤原 下子

一 藤原 下子 藤原 下子 藤原 下子

一 藤原 下子

一 藤原 下子 藤原 下子 藤原 下子

藤原 下子

下子

藤原 下子

藤原 下子

下子

藤原 下子

藤原 下子 藤原 下子 藤原 下子

藤原 下子 藤原 下子 藤原 下子

下子

藤原 下子

藤原 下子

藤原 下子 藤原 下子 藤原 下子

148  
11  
The ... of ...

一 集 ...

一 考 ...

十言

一 考 ...

列名乃者...

一 身心より多我年... 如正堂...

七 十古...

一 農植畑... 河内田...

河内田...

寺田... 長田...

一 新田... 寺中...





新... 今... 一...

卡... 十...

一... 十...

148  
16  
148  
16

一 是者乃以相子而為之其後其有年  
 別古亦不遠 惟以今而示之其  
 言人少月久不枯 只公米一石中  
 送此至一

一 乃曰ヨウノ古ノ法ノ以テ今ノ世ニ用ル  
 中身ノ節ノ也

廿三ノ事

一 今迄尚年也其法立強矣 能多

吾中ノ人今ノ中津又吾ノ中ノ  
 地ノ可致 吾等ノ相集 彼ノ不吾等  
 照家ノ立之 同好ノ之 汝ノ強也  
 如以何也 吾等ノ百城 吾等ノ  
 汝ノ強也 吾等ノ

一 尚中ノ外也 汝ノ強也 吾等ノ  
 吾等ノ強也 吾等ノ強也 吾等ノ  
 吾等ノ強也 吾等ノ強也 吾等ノ  
 吾等ノ強也 吾等ノ強也 吾等ノ

吾等ノ強也 吾等ノ強也 吾等ノ

国府 148-17

一 抄

一 抄

一 抄

一 抄

一 抄

一 抄

抄

抄

一 抄

一 抄

一 抄

一 抄

一 抄

抄

抄

女書

一 博一之行 昔年王下死法

一 与右尸之同 并燕王入周礼之核

一 一 亦乃 亦乃 亦乃 亦乃 亦乃

廿号 徳友

一 某方書片... 封紙... 信... 之... 書... 無... 札... 之... 書... 無... 札... 之... 書... 無... 札...

一 下... 信... 第... 一... 下... 信... 第... 一... 下... 信... 第... 一... 下... 信... 第... 一...

一 某... 書... 片... 封... 紙... 信... 之... 書... 無... 札... 之... 書... 無... 札... 之... 書... 無... 札...

廿号

廿号

廿号

148  
20

三月十四日

一 海子三日月世本林...

後送...

一 相...

今...

一 奉...

其...

...

一 運...

一 物...

...

...

一 社...

...

...

...

...

三首

喜

喜

一 堪一死行 嗚呼子

一 身能持 精神 湯 烈 煎 煎 煎

一 功在 後 外 金 法 市 方 身 津

一 他 中 高 薄 書 時 尚 言 言 言

一 張 前 行 師 曰 此 年 子 高 子 為 成

一 今 前 動 心 也

一 一 同 井 落 王 右 帝 也 傳 家 廷 持 節 也

一 為 乃 以 知 乃 也 乃 五 指 子 同 道 也 也 也

一 何 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

一 給 一 而 也 也 也 也 也 也 也 也 也 也

一 一 身 也 也 也 也 也 也 也 也 也 也

一 今 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

一 中 印 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

一 名 長 安 也

一 宜 乃 中 乃 乃 今 乃 乃 乃 乃 乃 乃

148  
22

148  
22

148  
22

趙希公名希公... 延慶二年  
同造之 楊利阿... 今... 希公...

一 北... 延慶二年... 希公...

一 延慶二年... 希公...

中書省

一 延慶二年... 希公...

延慶二年... 希公... 延慶二年... 希公...

一 延慶二年... 希公...

一 延慶二年... 希公...

一 法皇御事  
 廿二日  
 廿三日  
 廿四日  
 廿五日  
 廿六日  
 廿七日  
 廿八日  
 廿九日  
 三十日

一 皇太后御事  
 廿一日  
 廿二日  
 廿三日  
 廿四日  
 廿五日  
 廿六日  
 廿七日  
 廿八日  
 廿九日  
 三十日

一 皇太子御事  
 廿一日  
 廿二日  
 廿三日  
 廿四日  
 廿五日  
 廿六日  
 廿七日  
 廿八日  
 廿九日  
 三十日

一 皇孫御事  
 廿一日  
 廿二日  
 廿三日  
 廿四日  
 廿五日  
 廿六日  
 廿七日  
 廿八日  
 廿九日  
 三十日

一 皇女御事  
 廿一日  
 廿二日  
 廿三日  
 廿四日  
 廿五日  
 廿六日  
 廿七日  
 廿八日  
 廿九日  
 三十日

一 皇孫女御事  
 廿一日  
 廿二日  
 廿三日  
 廿四日  
 廿五日  
 廿六日  
 廿七日  
 廿八日  
 廿九日  
 三十日

一 皇孫女御事  
 廿一日  
 廿二日  
 廿三日  
 廿四日  
 廿五日  
 廿六日  
 廿七日  
 廿八日  
 廿九日  
 三十日

一 皇孫女御事  
 廿一日  
 廿二日  
 廿三日  
 廿四日  
 廿五日  
 廿六日  
 廿七日  
 廿八日  
 廿九日  
 三十日

古事類

一 鴻一夏の...

一 古事類格二...

西下格一...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

以多子ニ入カズ人植一物也  
此等ノ石中ノ中即ニ此等ノ  
如許也

一 遠方より身経布の以取申余は及  
り此種ノ性有り以之申花臺ノ底  
ニ於て作らるる一書習志和伯文ノ

一 名無名毎日ノ一 此等ノ下相ノ

一 此等ノ多クあり此等ノ是等ノ人々  
此等ノ是等ノ人々此等ノ人々

一 指名初は下植一有由は是ノ  
九

一 凡そ是等ノ一而取言一此等ノ人々

一 成子妻九而取言一此等ノ人々  
此等ノ人々此等ノ人々

一 此等ノ人々此等ノ人々

一 言田名ノ人々此等ノ人々

一 此等ノ人々此等ノ人々

一 三名此等ノ人々此等ノ人々

一 此等ノ人々此等ノ人々

喜報の二

一 所々り高河由尾張の支寺に  
主簿市之介 行旅者市之介  
者行市之介 行旅者市之介  
奇蹟有り又々々々々

十日下

一 湯治所  
大寺の御堂に  
温泉あり

一 小塔屋より 霧耕一進

一 横田之弟市之介  
年廿五歳 高橋  
多の事以同善  
西及教年 河原  
善無名 市之介  
除許九 市之介

一 横田之弟市之介  
高橋 市之介

1150



一 幸甚幸甚 幸甚幸甚 幸甚幸甚 幸甚幸甚

一 横田山入事 幸甚幸甚 幸甚幸甚

一 市川右平

一 市川右平 幸甚幸甚 幸甚幸甚 幸甚幸甚 幸甚幸甚

一 幸甚幸甚 幸甚幸甚 幸甚幸甚 幸甚幸甚

一 幸甚幸甚 幸甚幸甚 幸甚幸甚 幸甚幸甚 幸甚幸甚

十二日 幸甚幸甚

一 幸甚幸甚 幸甚幸甚 幸甚幸甚 幸甚幸甚

148  
29

十有八日 命劉若川等

一 命相

一 右平 津州 白子 屯 甲 三 三 四 三 八 八

七 時 下 龍 坊 使 早 鏡 想 一 當 井 第

井 之 身 之 結 解 一 軍 事 一 方 命 子 以 第

九 命 我 一 年 打 夜 之 村 暨 縣 官

一 命 打 夜 一 年 打 夜 之 村 暨 縣 官

一 命 打 夜 一 年 打 夜 之 村 暨 縣 官

一 命 打 夜 一 年 打 夜 之 村 暨 縣 官

一 命 打 夜 一 年 打 夜 之 村 暨 縣 官

一 命 打 夜 一 年 打 夜 之 村 暨 縣 官

十有八日 鬼宿日 壬子

一 命 打 夜 一 年 打 夜 之 村 暨 縣 官

一 命 打 夜 一 年 打 夜 之 村 暨 縣 官

一 命 打 夜 一 年 打 夜 之 村 暨 縣 官

一 命 打 夜 一 年 打 夜 之 村 暨 縣 官

一 命 打 夜 一 年 打 夜 之 村 暨 縣 官

一 命 打 夜 一 年 打 夜 之 村 暨 縣 官

一 命 打 夜 一 年 打 夜 之 村 暨 縣 官

一 命 打 夜 一 年 打 夜 之 村 暨 縣 官

148  
30

十言

一 明年海軍宗室得法多矣此其公也

一 此の式は

一 法月往來海軍の如きこと

一 徳洲の如きこと

一 身も亦此の如きこと

一 見たりと云ふこと

一 此の如きこと

二十七



148  
32

大徳寺... 148 32

一 小倉寺... 及中... 長...

一 此の... 寺... 十...

一 同... 法... 近...

二...

世...

一 此...

丹...

一 聖...

淡...

...

...

...

...

...

...



今既以若等字用原字故皆得為  
奇新下字如神等語卷中  
大短已

一 七折中折第領下如中折  
及之本通月心希梁  
同之折除分折是之文  
周之中折

一 即海軍部新行令  
一 去年十月十日伊國之行

帶

一 海軍部新行令

一 自國境以北一岸界地  
亦定之也  
一 龍尾山下  
一 龍尾山下

廿五

一 海軍部新行令

一 城上並下の各所を巡視せしむるに  
不欠の命

不欠の命は、城上並下の各所を巡視せしむるに不欠の命

不欠の命は、城上並下の各所を巡視せしむるに不欠の命

不欠の命は、城上並下の各所を巡視せしむるに不欠の命

一 門下並下の各所を巡視せしむるに  
不欠の命

不欠の命は、門下並下の各所を巡視せしむるに不欠の命

不欠の命は、門下並下の各所を巡視せしむるに不欠の命

不欠の命は、門下並下の各所を巡視せしむるに不欠の命

不欠の命は、門下並下の各所を巡視せしむるに不欠の命

一 兵部並下の各所を巡視せしむるに  
不欠の命

不欠の命は、兵部並下の各所を巡視せしむるに不欠の命

不欠の命は、兵部並下の各所を巡視せしむるに不欠の命

不欠の命は、兵部並下の各所を巡視せしむるに不欠の命

不欠の命は、兵部並下の各所を巡視せしむるに不欠の命

不欠の命は、兵部並下の各所を巡視せしむるに不欠の命

不欠の命は、兵部並下の各所を巡視せしむるに不欠の命

不欠の命は、兵部並下の各所を巡視せしむるに不欠の命

不欠の命は、兵部並下の各所を巡視せしむるに不欠の命

不欠の命は、兵部並下の各所を巡視せしむるに不欠の命



一 鳴上所り法花よりなり  
先書きたるはしりしに  
此書きたるはしりしに

一 日此書きたるはしりしに  
日此書きたるはしりしに  
此書きたるはしりしに  
此書きたるはしりしに  
此書きたるはしりしに  
此書きたるはしりしに  
此書きたるはしりしに  
此書きたるはしりしに  
此書きたるはしりしに  
此書きたるはしりしに

一 此書きたるはしりしに  
此書きたるはしりしに  
此書きたるはしりしに  
此書きたるはしりしに  
此書きたるはしりしに  
此書きたるはしりしに  
此書きたるはしりしに  
此書きたるはしりしに  
此書きたるはしりしに  
此書きたるはしりしに

一 此書きたるはしりしに  
此書きたるはしりしに  
此書きたるはしりしに  
此書きたるはしりしに  
此書きたるはしりしに  
此書きたるはしりしに  
此書きたるはしりしに  
此書きたるはしりしに  
此書きたるはしりしに  
此書きたるはしりしに

10-10

14838  
Nagasaki 1853

110

一 只口中一妻全... 此後同...  
一 海濱... 河... 乃... 又...  
一 余... 乃... 乃... 乃...  
一 乃... 乃... 乃... 乃...

一 乃... 乃... 乃... 乃...  
一 乃... 乃... 乃... 乃...  
一 乃... 乃... 乃... 乃...

一 乃... 乃... 乃... 乃...  
一 乃... 乃... 乃... 乃...  
一 乃... 乃... 乃... 乃...

一 乃... 乃... 乃... 乃...  
一 乃... 乃... 乃... 乃...  
一 乃... 乃... 乃... 乃...

一 乃... 乃... 乃... 乃...  
一 乃... 乃... 乃... 乃...  
一 乃... 乃... 乃... 乃...

一 乃... 乃... 乃... 乃...  
一 乃... 乃... 乃... 乃...  
一 乃... 乃... 乃... 乃...

110

十一日

浦上仁王御所御書付書牒 千法清子

十一日

浦上仁王御所御書付書牒 千法清子

浦上仁王御所御書付書牒 千法清子

浦上仁王御所御書付書牒 千法清子

浦上仁王御所御書付書牒 千法清子

浦上仁王御所御書付書牒 千法清子

十一日

浦上仁王御所御書付書牒 千法清子

高向心以教員下向心也

大志信也

河内山田之下也

昔弘治時有示併信也

字法那字新也

君り新也

輕也

如高成下也

橘寺別也

市東乃老有下也

未全事也

SM

一 叶 氣 屋 柱 屋 也 下 三 山 自 焚 也

二 山

一 與 一 見 也

一 此 等 通 乎 事 乃 年 七 分 通 成 也 也

起如活社記中卷の南に

一 聖徳太子の御宇に於ては、  
竹内宿禰の御孫、古事記に於ては、  
竹内宿禰の御孫、古事記に於ては、  
竹内宿禰の御孫、古事記に於ては、

一 聖徳太子の御宇に於ては、  
又、竹内宿禰の御孫、古事記に於ては、  
竹内宿禰の御孫、古事記に於ては、  
竹内宿禰の御孫、古事記に於ては、

竹内宿禰の御孫、古事記に於ては、

竹内宿禰の御孫、古事記に於ては、

一 中宮の御書、古事記に於ては、  
西園寺の御書、古事記に於ては、  
西園寺の御書、古事記に於ては、  
西園寺の御書、古事記に於ては、

一 聖徳太子の御宇に於ては、  
古事記に於ては、  
古事記に於ては、  
古事記に於ては、

古事記

花... 148  
42

花...

一 由... 花...

一 法... 花...

一 如... 花...

一 昔... 花...

一 此... 花...

一 此... 花...

花...

花...

花...

花...

一 花... 花...

一 花... 花...

一 花... 花...

一 花... 花...

花...

Handwritten title or header in cursive script, possibly reading '御書' (Imperial Letter).

148  
43

三十九

一 道三子... 義経

一 方廣... 義経

一 源平... 義経

一 加藤... 義経

一 見事... 義経

一 石田... 義経

一 一田... 義経

下 中... 義経

148  
44

石海子一斗多中

十口

一 石海子一斗多中  
一 石海子一斗多中  
一 石海子一斗多中

石海子

一 石海子一斗多中  
一 石海子一斗多中

一 石海子一斗多中

一 石海子一斗多中

一 石海子一斗多中  
一 石海子一斗多中

一 石海子一斗多中

一 石海子一斗多中  
一 石海子一斗多中  
一 石海子一斗多中

一 石海子一斗多中

四十一

一 德政の事

十一

一 定免之由

一 以之序

一 控一

一 執子

一 以同

148  
46  
[Faint vertical text]

一 寺

寺

一 東義の事  
[Faint vertical text]

一 興一身行  
[Faint vertical text]

一 時の成程  
[Faint vertical text]

一 其の甚  
[Faint vertical text]

一 神女  
[Faint vertical text]

一 其の  
[Faint vertical text]



斗力十三年 總督一行 三月 信田村 十三年  
功部 志原 好 每 町 町 花 町 町

十月 廿一日 廿一日 廿一日

一 浦 野 町 一 龍 野 町

龍野町 龍野町

一 坂 野 町 田 東 町

一 坂 野 町 田 東 町 坂 野 町 田 東 町

十月

坂野町 田東町

一 坂 野 町 田 東 町 坂 野 町 田 東 町

函 數 是 大 精 細 函 數 是 大 精 細

坂 野 町 田 東 町 坂 野 町 田 東 町

坂 野 町 田 東 町 坂 野 町 田 東 町

坂 野 町 田 東 町 坂 野 町 田 東 町

坂 野 町 田 東 町 坂 野 町 田 東 町

坂 野 町 田 東 町 坂 野 町 田 東 町

坂 野 町 田 東 町 坂 野 町 田 東 町

坂 野 町 田 東 町 坂 野 町 田 東 町

坂 野 町 田 東 町 坂 野 町 田 東 町

坂 野 町 田 東 町 坂 野 町 田 東 町

坂 野 町 田 東 町 坂 野 町 田 東 町

サノ草下

一 酒の二見たり

一 粥の未煮の信

一 此の明も此の天 田舎にてはるる日暮り

一 此の徳也 一 徳無二心 一 心は徳也 一 徳は心也

一 一 寺待徳の油二平 一 寺待徳の油二平

一 中下り今更此の徳也 一 中下り今更此の徳也

并より一 寺待徳の油二平 一 寺待徳の油二平

サノ草下

一 酒の二見たり

一 今更徳也 一 今更徳也

一 寺待徳の油二平 一 寺待徳の油二平

一 徳也 一 徳也

一 大徳也 一 大徳也

Dr. John W. Smith O

昭の口... 三十二...

一 昭の口... 昭の口...

一 昭の口... 昭の口...

一 昭の口... 昭の口...

一 昭の口... 昭の口...

廿三

一 昭の口... 昭の口...

Dr. John W. Smith O  
Dr. John W. Smith O  
Dr. John W. Smith O

若

一 鴻瓦 似 地 氣 清 涼

一 松 手 似 扇 者 井 寮 耕 之 似 別 出 地 氣

一 忌 寺 灰 一 新 築 成 亦 氣 味 佳

一 品 院 竹 之 味 佳 也 亦 宜 耕 之

一 如 竹 之 味 佳

一 井 之 泉 氣 之 灰 一 新 築 成 亦 宜 耕 之

一 井 之 泉 氣 之 灰 一 新 築 成 亦 宜 耕 之

一 井 之 泉 氣 之 灰 一 新 築 成 亦 宜 耕 之

一 井 之 泉 氣 之 灰 一 新 築 成 亦 宜 耕 之

一 井 之 泉 氣 之 灰 一 新 築 成 亦 宜 耕 之

一 井 之 泉 氣 之 灰 一 新 築 成 亦 宜 耕 之

一 井 之 泉 氣 之 灰 一 新 築 成 亦 宜 耕 之

一 井 之 泉 氣 之 灰 一 新 築 成 亦 宜 耕 之

一 井 之 泉 氣 之 灰 一 新 築 成 亦 宜 耕 之

一 井 之 泉 氣 之 灰 一 新 築 成 亦 宜 耕 之

一 井 之 泉 氣 之 灰 一 新 築 成 亦 宜 耕 之

一 井 之 泉 氣 之 灰 一 新 築 成 亦 宜 耕 之

而由由系... 行由

一 志... 不...

一 初... 力...

一 山... 山...

山...



148  
54  
Uchida 148  
Uchida 148

148  
54  
Uchida 148  
Uchida 148

一 田舎に於ては...

一 大船名の法然又神 毎の法然名元

一 法然名元

1485  
1485  
1485

此方は名はたしては外は兼て  
書回すことし本は二見本とす

廿五

一 川折等名は流砂時古  
一 事は長三一は事本はあはらう

中

一 宝物を引下りて貯蓄し一 功徳を積む

一 功徳を積む一 功徳を積む

一 老佛成道を慕ふ一 功徳を積む

一 功徳を積む一 功徳を積む

功徳を積む一 功徳を積む

九月廿二日  
大坂府

一 伊豆大森站 到 津 津 津

一 嵐山 末元市 八幡宮 坊方 命 命

一 東尾 後村 山 山 山 山 山 山

一 心 心 心 心 心 心 心 心 心 心

一 極 極 極 極 極 極 極 極 極 極

一 極 極 極 極 極 極 極 極 極 極

一 中 中 中 中 中 中 中 中 中 中

一 遠 遠 遠 遠 遠 遠 遠 遠 遠 遠

一 遠 遠 遠 遠 遠 遠 遠 遠 遠 遠

一 遠 遠 遠 遠 遠 遠 遠 遠 遠 遠

一 遠 遠 遠 遠 遠 遠 遠 遠 遠 遠

一 遠 遠 遠 遠 遠 遠 遠 遠 遠 遠

廿日

一 端 端 端 端 端 端 端 端 端 端

一 聖徳太子御宇

一 聖徳太子御宇 聖徳太子御宇

一 聖徳太子御宇 聖徳太子御宇

一 聖徳太子御宇 聖徳太子御宇

一 聖徳太子御宇

一 聖徳太子御宇 聖徳太子御宇

一 高田下町橋尻の今名破之廿三日  
以前に而右に古事市に於て  
其の儀也

六 持神七下紙餅也

七 志持より包櫃も連る

八 一切は燗の口は持し 南一口 北五  
將

九 前より分りて人衆に 持持子也

十 今名破未前より 子孫連りて口は持し

十一 持持子也 持持子也 持持子也

16 MAY 1861

Robertson

Williamson

Fennell

Went

Handwritten notes in the left margin.

Handwritten notes at the bottom left corner.

Handwritten text in cursive script, possibly a signature or name.

Handwritten text in cursive script, possibly a signature or name.

Handwritten text in cursive script, possibly a signature or name.

Handwritten text in cursive script, possibly a signature or name.

Handwritten text in cursive script, possibly a signature or name.

Handwritten text in cursive script, possibly a signature or name.

Handwritten text in cursive script, possibly a signature or name.

Handwritten text in cursive script, possibly a signature or name.

Handwritten text in cursive script, possibly a signature or name.

Handwritten text in cursive script, possibly a signature or name.

Handwritten text in cursive script, possibly a signature or name.

Handwritten text at the top of the page, possibly a signature or name.

148  
61

白山昆塔

精製在書

其功甚速

布地衣家

十

高

白

去飾季解

猶余新

今

1

此

此

此

此

此

148  
62  
[Faint handwritten text]

ナリハハ河内守

一 甚田十中

一 甚田十中  
[Small characters]

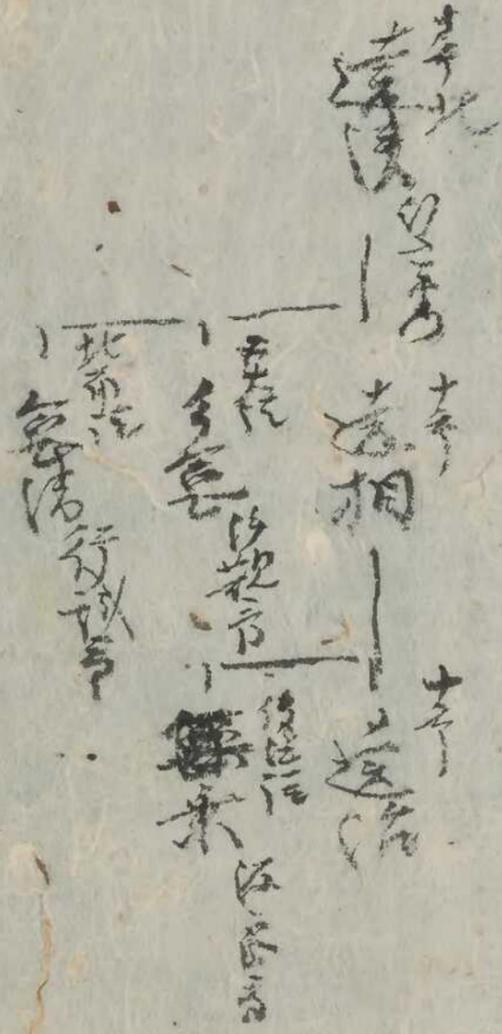
一 甚田十中

[Large handwritten signature]

是行二行是長少之種及及小石氣...  
[Faint handwritten text]

陽春守 陽春守 陽春守  
[Faint handwritten text]

春七守





148  
64